



磐梯町様に設置された計測震度計

福島県計測震度計更新工事完了！

福島県震度情報ネットワークシステムの計測震度計更新で、明星電気のS210が採用されました。

従来のシステムは、平成8年度に当時の市町村役場90箇所に計測震度計が設置され、県内の観測データを県庁に一括収集して防災の初動体勢に活かすと共に、観測データを気象台及び消防庁へ送信していました。この度は消防庁補助事業により、最新の技術を反映した次世代計測震度計に更新されることになりました。

今回の更新工事にあたっては、NECネットエスアイ㈱福島営業所様と協業し、県内90箇所の機器更新に加え、正確な震度を求める目的で震度計基礎部分の改修工事も行われました。工事は工期内に無事完了し、9月29日に福島県内で発生した地震を確実に計測しています。

明星電気の次世代計測震度計は、多くの自治体地震防災に役立てられています。

(当社営業担当:東北支店 松井 利浩)



JAXA様展示ブースの様子

国際宇宙会議プラハ大会展示ブースで 明星電気の小型衛星等機器が紹介されました！

第61回国際宇宙会議(IAC)プラハ大会が、去る9月27日～10月1日の期間開催されました。

この大会は世界中の宇宙関係機関や企業・大学等が参加し、学術研究の成果を発表する世界最大規模の宇宙関連会議です。

日本からは宇宙航空研究開発機構(JAXA)様が参加し、日本の探査ミッションをテーマとした展示ブースが設置され、「はやぶさ」「イカロス」の模型などが展示・紹介されていました。その中で、JAXA産業連携センター様が、日本企業の海外での受注活動に貢献することを目的に、宇宙産業の技術力をアピールする展示を行いました。また、明星電気の衛星搭載モニタカメラ等の観測機器や小型衛星も紹介され、その高品位な技術が来場者の注目を集めていました。

明星電気は日本を代表する宇宙や地球の観測機器メーカーを目指します。

(当社営業担当:小林 忍)

D滑走路設置機器と
空港気象実況監視ディスプレイ

羽田空港D滑走路にも 明星電気の空港用気象観測装置が運用されています！

羽田空港の新国際線旅客ターミナルが開業し、D滑走路の運用が始まりました。国際線の発着数が30%アップすることで、国際ハブ空港として注目を集めています。便数の増加に伴い今まで以上に霧や雨・風などの気象状況への対応や離着陸の管制機能の制度が重要となります。

明星電気は各空港に、航空機の安全な離着陸に不可欠な飛行場の滑走路視距離・雲底高度・風向風速・雨量などの大気現象を観測するための空港用気象観測装置を提供しています。羽田空港では、既にA滑走路からC滑走路において明星電気の空港用気象観測装置が採用されていますが、今回のD滑走路運用開始に伴い本システムが増設されました。

ここでも明星電気の空港用気象観測技術が航空機の安全運行に役立っています。

(当社営業担当:第一営業部 塩原 賢一)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。